

寒さ厳しいこの名張の地にも、春の気配が感じられる季節となりました。

百七十九名の卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

今日の佳き日を迎えるまでには、楽しかったことばかりではなく、時には悩んだり、苦しんだこともたくさんあったことと思います。特に、この二年間は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、たくさんの方の学校行事や部活動が延期や中止となり、教育活動に大きな制限がかかりました。そのような逆境の中においても、みなさんは明るさ、笑顔を忘れず、前向きに、仲間と力と合わせ、知恵を出し合いながら、今日まで乗り越えてきました。そのようなみなさんのたくましい姿は、私たち教職員や後輩に大きな元氣と勇氣を与えてくれました。ありがとうございます。

みなさんが、これからそれぞれのかげがえのない人生を歩んでいくにあたり、三つのことを話し、はなむけしたいと思います。

一つ目は、周りの人に対して常に「ありがとう」という感謝の気持ちを忘れないということです。コロナ禍の中で改めて気がついたことですが、この世の中に「あたりまえ」なことなど何一つありません。これからの長い人生の間には、いいことも、うまくいかないことも紆余曲折あるかと思いますが、どのような時であっても、今の自分や周りの人に「ありがとう」という感謝の気持ちを忘れないでいてください。

二つ目は、常に学び続けるということです。これからみなさんが生きていく社会は、不透明で先を予測することが難しい社会です。正解はひとつではなく、その場、その場に応じて、必要な情報を集め、自分の頭で考え判断していかなければなりません。常に学び続け、頭の中をいつも最新の状態にするよう努力してください。

三つ目は、人とのつながりを大切にすることです。みなさんは、中学校3年間で、かけがえのない友だちや先生との出会いがあったと思います。これからたくさんの方とのすばらしい出会いが待っています。人は出会いにより成長します。ひとつとして無駄な出会いはありません。自分らしさ、自分の思いや考えを大切にするとともに、自分と違った考えをもった人の話にも耳を傾け、共に力を合わせながら、より豊かで幸せな人生を歩んでほしいと思います。

今日でみなさんは、この北中学校を巣立っていきます。どこに行っても自慢のできる北中学校で学んだという、自信と誇りをいつまでも宝物にしてください。時にはまた、中学校に元氣な姿を見せてください。楽しい話で先生たちを喜ばせたり、時には勇気づけられて帰ることがあってもよいと思います。みなさんの活躍ぶりを聞くと、先生たちはうれしくなり、元氣が出てきます。また、本日参列ができなかった後輩にも元氣を送ってほしいと思います。

最後になりましたが、保護者のみなさま、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。立派に成長された姿を目の当たりにされ、感慨もひとしおのことと思います。本日まで北中学校に寄せていただきました数々のご理解とご協力に對して、高い所からではございますが深く感謝申し上げます。ありがとうございます。今後長い目でお子様の成長を温かく見守っていただきますようお願いいたします。

それでは、卒業生百七十九名のみなさんのかげがえのない未来を祝福し、学校長の式辞といたします。

卒業生のみなさん、今までありがとうございます。さようなら。そしてまた、元氣に会いましょう。

